

もしもあなたが、従業員が、ガンと診断されたら… ガン治療と仕事の両立



二人に一人はガンと診断される時代、診断後も「働くこと」は生活の安定をもたらすだけでなく、生き甲斐や社会貢献の機会を与え精神の安定をももたらします。近年、就労しながらの治療も可能になりガン就労問題が注目を集めるようになりました。

そこで、本講座では罹患した社員の立場、会社の立場など双方の角度からの意見を聞き、ガン治療と仕事の両立について考えます。「もしも」のために120分間、一緒に考えてみませんか。



日時

2021年

3月6日(土)

13:00~15:00

定員

500名

参加
対象者

参加費無料！
どなたでも
ご参加いただけます！

ただし、パソコン等の設定・接続等
はご自身でお願いいたします。

(定員になり次第締め切らせていただきます)

講座
内容

第1部 岸田 徹氏 講演「キャンサーギフト、がんになって得たこと、そして伝えたいこと」

第2部 パネルディスカッション「ガン治療と仕事の両立」

パネリスト NPO法人がんノート代表理事 岸田 徹氏、NPO法人がんノート理事 佐藤 由紀氏
大阪府社会保険労務士会がん患者等就労支援特別部会長 関 孝子

配信方法

ZOOM ウェビナー (お申込確認後、視聴用 URL をお申込みいただいたメールアドレスに送信します。)

申込方法

大阪府社会保険労務士会ホームページの「最新のお知らせ」無料WEBセミナーのご案内から又は記載のQRコードを読み取って、アクセスしていただき、令和3年3月5日(金)までにお申し込みください。

受付完了メールが届きますので、ご確認下さい。万が一、3分以内にメールが届かない場合は、メールアドレスの入力ミスが考えられますので、大変お手数ですが、再度入力をお願いします。

<https://form.os7.biz/f/0b4947a7/>



問合わせ先

大阪府社会保険労務士会事務局

TEL 06(4800)8188 [mail] sro-entry@sr-osaka.jp

ホームページURL

<http://www.sr-osaka.jp>

大阪府社労士会

検索



注意事項

- ・ご視聴にはZOOMをインストールしたパソコン、スマートフォン、タブレットなどのデバイスおよび通信容量を気にせずアクセスできるインターネット環境が必要です。
- ・通信にかかる費用は、各自ご負担ください。
- ・ご利用の通信環境やデバイス環境等により、映像の途切れ・停止等が生じ、正常に視聴できないことがあります。
- ・ご視聴にあたっての技術的な問合せにはお答えいたしかねます。
- ・予期せぬ問題の発生等により、本セミナーのオンライン配信がうまくいかない、または中止となる可能性がございますがご了承ください。
- ・本セミナーの映像、画像、テキスト、音声等のコンテンツの全部又は一部(以下、「本コンテンツ」という。)に関する著作権及び著作者人格権は、講演者、大阪府社会保険労務士会に帰属します。著作権者及び著作者の許諾を得ずに、本コンテンツを複製、上映、二次利用等することは、著作権及び著作者人格権を侵害する行為であり、お断りさせていただきます。

講師・パネリスト プロフィール



NPO法人がんノート
代表理事

岸田 徹 氏

【略歴】

- 2012年 9月 体調不良で病院へ
- 2012年 11月 全身がん発覚(希少がん「胎児性がん」)、治療開始
- 2013年 3月 第一回目手術(首・胸部)
- 2013年 5月 第二回目手術(腹部)
- 2014年 4月 若年性がん患者団体STAND UP!! 渉外就任
- 2015年 1月 国立がん研究センター企画戦略局広報企画室
広報就任
- 2015年 7月 がん再発、第三回目手術 → 現在は経過観察中
- 2016年 8月 NPO法人がんノート設立、代表理事就任
- 2018年 6月 一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方
研究会 広報、社会連携担当就任
- 2018年 8月 アフラックCM出演
- 2018年 12月 厚生労働省 がん対策推進総合研究事業 中間・
事後 評価委員就任
- 2019年 3月 厚生労働省 がんとの共生のあり方に関する
検討委員就任

【プロフィール】

25歳で「全身がん」の告知を受ける。がんの種類は「胚細胞腫瘍(胎児性がん)」という希少がん。約3ヶ月にわたる抗がん剤治療、2回の手術を経て社会復帰するが、約2年後に再発。その後、手術を受け、現在は経過観察中。

自身の闘病経験から「患者側の情報も医療と同じくらい大切だ」ということを考え、2014年からがん経験者によるインタビューWeb番組「がんノート」をスタート。“一歩踏み込んだセンシティブな患者情報”をユーモア交え発信。放送回数は120回を超え、世界最大級のがん患者インタビュー動画メディアとなる。多くのメディアにも取り上げられ、現在は講演や企業研修、行政の企画や監修など多岐にわたり活動している。



NPO法人がんノート
理事

佐藤 由紀 氏

【略歴】

- 2017年 1月 NPO法人がんノート ボランティアスタッフ開始
- 2018年 8月 職場の健康診断で子宮頸部の異常
(高度異形成)が見つかり、病院へ
- 2018年 11月 治療と検査を兼ねて、手術(円錐切除術)
- 2018年 12月 子宮頸がんIbと判明
- 2019年 1月 根治のための手術(広汎子宮全摘術)
- 2019年 10月 NPO法人がんノート 理事就任

【プロフィール】

立命館大学および大学院にて、理論物理学を専攻。新卒より6年間、システムエンジニアとして宇宙分野のソフトウェアの企画開発(新卒2年目よりマネージャー業務も実施)。

その後、ネット企業にて技術責任者としてアジア13カ国での事業を牽引、子会社のCEOも兼任。最終的に100名程度のエンジニアの組織構築・マネジメントを実施。現在は、新規事業部門を立ち上げ、事業企画-サービスデリバリーまで一貫して担当&各種メンバーのマネジメント。